

皆さま

南カリフォルニアからこんにちは。

女性と女児の権利確立に動くものとして、私たちは次世代教育の重要性を知っております。人権確立を目指すYWPAの学生たちを援助する活動、手助けを必要とする人々のための奉仕活動をする学生たちを援助する活動、あるいは学業継続を望む学生たちを阻む障害を取り除く活動等々、女児たちの学業を継続させる活動は、皆をより良い将来へと導くものです。

下に示すのは、二人の素晴らしい若い女性たちと、1つのゴールデンZクラブの活動です。彼女たちの世代の直面する問題に光を当て、輝かしい未来を見つめます。女性の権利確立を目指す素晴らしい伸展を見ることでしょう。そして、あなたと彼女たちが私たちと共に活動してくださるのを嬉しく思います。

私たちの活動についてお読みください。そしてビデオをご覧ください。私が感激したように、あなたも感銘を受けられると思います。

よろしくお願いたします。



国際ゾンタ会長シャロン・ランゲンベック (Ph.D)

---

## 2020年YWPA受賞者 グアダルーパ・ローマンが語る 「公平に教育を受ける場を」



グアダルーパは、最近、国際ゾンタのジーナ・ミークスさん (Content Management Senior Advisor) と会い、YWPA賞とその資金の将来について語り合いました。

---

## コロンボIゴールデンZクラブは、3段階で構成する精神衛生 キャンペーンで女性と少女を支援しています



世界に長く続く影響を与え、これから何世代にもわたり女性と少女の生活に変化をもたらすためには、若い力の開発に投資し、ジェンダーの平等に取り組む若いリーダーたちを養成しなければなりません。国際ゾントのZクラブ及びゴールデンZクラブ プログラムを通して、世界の学生たちが「奉仕とアドボカシーを通して、女性と少女に自立心を起こさせる」と言うゾントの使命を推進させています。

スリランカのコロンボ・クラブをスポンサーとするコロンボIゴールデンZクラブは、その優秀な奉仕プロジェクト「健全な精神」に対して2020年度エマLコンロン賞（一等賞）を受賞しました。

このプロジェクトは、スリランカ的女性と子供たちの精神衛生向上を目的とし、3段階から成り立っています。「バリアを破る」、「幸福を求める」、「あなたは治る」

スリランカだけでなく地球規模で、精神疾患の人々が治療を受けるとき障害となる「恥」の感情は、往々にして精神衛生との関連があります。「健全な精神」プロジェクトのような精神衛生を意識することが「恥」の感情を減少させることが証明されました。

学生たちのクラブの活動について、詳しくは、[ここをクリックしてください。](#)

[Golden Z Club in Action](#)

---

### ゾンタプロジェクトの現況：

## エチオピアのガールズ・クラブが、農村の10代の少女たちを結婚から救う

国際ゾンタは、国連機関UNFPA及びUNICEFのプロジェクト「児童婚を終わらせる」を通して、児童の婚姻率が最も高い12ヶ国において、児童婚を辞めさせる運動を支援しています。少女たちの早婚につながる背景、要因に対する方策を各国が持っています。エチオピアにおいて、児童の早婚を防ぐガールズ・クラブがその力をみせたストーリーをお読みください。



「両親から「あなたは結婚するのよ」と言われた時、私は警察に行きました」と、メスタウエット・メクリアは言います。彼女は14歳、エチオピア北部アムハラ地区のアイティ学校の中学1年生です。メスタウエットは、「結婚」から救われた20人の女子学生達の一人です。

「私は学校の少女クラブで児童婚とその影響について学びました。両親に、私は結婚したくないと言いましたが、両親は受け入れてくれませんでした。ですから私は警察に行ったのです」メスタウエットは、単に、両親が厳しい警告を受けるだけだろうと思っていました。しかし、成り行きはもっと厳しく、彼女の両親は逮捕され、法律違反の罪で2週間投獄されました。「両親が逮捕された時、私は悲しかった、けれども彼らは私の言葉を聞き入れてくれませんでした」

児童婚（公式、非公式にかかわらず、18歳以下の結婚）は、エチオピア全土にわたって行われています。この10年間でその習慣は大幅に減少しましたが、いまだに国内の少女たちの40%は18歳未満で結婚しています。

メスタウエットの両親は自分たちの身に降りかかった事柄に怒りましたが、後に、村の長老のとりなしで、娘と和解しました。「今は、私の両親は児童婚とその影響について理解しています。もう私に対して怒っていません」とメスタウエットは言います。

ガールズ・クラブは、少女たちの教育に対して学校又は社会が作る障壁を防ぐあるいは和らげる目的で結成されています。これらのクラブは、生涯を通して役立つ技術訓練で彼女たちの自立心を育て、児童婚の削減に大きな影響を与えます。特に小学5年生から中学2年生の女子生徒達に焦点を当てています。この年齢のグループが通常もっとも児童婚の影響を受けるからです。

「児童婚は有害な慣行であり、私のように少女たちにも教育を受け続けてほしいです」とメスタウエットは言います。「同級生が結婚して学校を辞めていくのを見てきました。私はいつも村の友達に児童婚について話していますし、これからも友達以外の人たちにもそうしていきます。」

メスタウエットは医者か教師になりたいと思っています。彼女が夢をかなえるのはまだ何年も先のこともかもしれませんが、それまでの間、彼女は自分の妹を含む村の他の少女を早すぎる結婚から守るために積極的に活動しています。

児童婚を終わらせるために、そしてガールズ・クラブやメスタウエットのような思春期の少女たちを支援するために国際ゾンタ奉仕基金に寄付をお願いいたします。

Donate

## 地区チャレンジの準備はできていますか？

地区チャレンジの詳細は、下のボタンをクリックしてください。

Every Member Every November

国際ゾンタがどのように使命を果たしているのか、貴方のソーシャル・ネットワーキング・サービスに情報を発信してください。



[www.zonta.org](http://www.zonta.org)

STAY CONNECTED

